

アレロック® と アテレック® との 販売名類似による取り違い注意のお願い

2019年12月
協和キリン株式会社
EAファーマ株式会社
持田製薬株式会社

謹啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は弊社製品につきまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、「アレロック®錠・OD錠（一般名：オロパタジン塩酸塩）」（製造販売元：協和キリン株式会社）ならびに「アテレック®錠（一般名：シルニジピン）」（製造販売元：EAファーマ株式会社、販売：持田製薬株式会社）の販売名類似による取り違いにつきまして、2004年3月および2008年12月に製品ごとの注意喚起、加えて調剤時の取り違いを防ぐ目的でPTPシートのデザイン変更をさせていただきましたが、「薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業」の「薬局事例検索」によりますと、2019年11月14日時点で、2009年1月から2018年12月の間に調剤での両剤の取り違い事例が計52件発生したと報告されています^{注1), 2)}。





「アレロック®錠・OD錠」と「アテレック®錠」を処方または調剤いただく際には今一度、**販売名、効能・効果等をご確認**くださいますようお願い申し上げます。

謹白

調剤時の薬剤取り違い事例 ^{注1)}	
〈事例内容〉	処方アテレック®錠5mgであったが、間違えてアレロック®錠5mgで調剤した。監査時に気づき、調剤しなおした。
〈背景要因〉	名称が似ており、規格も同じだったため、処方箋の見間違いと調剤時の焦りが原因だと考えられる。
薬剤取り違いに対する改善策の事例 ^{注1)}	
<ul style="list-style-type: none">● 薬品棚への注意喚起ラベル貼付（名称類似、薬効）● 類似名称医薬品の一覧の掲示	

注1) 公益財団法人 日本医療機能評価機構が実施している薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業
(<http://www.yakkyoku-hiyari.jcqh.or.jp/>)

注2) 公益財団法人 日本医療機能評価機構が実施している医療事故情報収集等事業
(<http://www.med-safe.jp/>)

薬効分類名	アレルギー性疾患治療剤	持続性Ca拮抗降圧剤
販売名	アロック®錠 2.5・5 アロック®OD錠 2.5・5	アテレック®錠5 アテレック®錠10 アテレック®錠20
一般名	オロパタジン塩酸塩	シルニジピン
PTPシート	 <p>※全ての製品の裏面に「アレルギー性疾患治療剤」と表示しています。</p>	 <p>※全ての製品の表裏に「高血圧症の薬です」と表示しています。</p>
製造販売元/販売	<p>製造販売元 協和キリン株式会社 東京都千代田区大手町1-9-2</p>	<p>製造販売元  EAファーマ株式会社 東京都中央区入船二丁目1番1号</p> <p>販売  持田製薬株式会社 MOCHIDA 東京都新宿区四谷1丁目7番地</p>
お問い合わせ先	<p>協和キリン株式会社 くすり相談窓口 TEL：0120-850-150 受付時間：9:00～17:30 (土・日・祝日及び弊社休日を除く)</p>	<p>持田製薬株式会社 くすり相談窓口 TEL：03-5229-3906、 0120-189-522 受付時間：9:00～17:40 (土・日、祝日、会社休日を除く)</p>

製品をご使用の際は最新の添付文書をご確認ください。

本情報の留意点

- 情報の作成に当たり、弊社は正確性について万全を期しておりますが、それを保証するものではありません。
- 本情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課したりするものではなく、あくまで医療従事者に対し、医薬品の安全使用の推進を支援する情報として作成したものです。